

組織現勢 (11月1日現在)

組合員数 25,063 世帯
 出資口数 94,578 口
 10月の新規加入 72 世帯
 10月の増資口数 201 口

No. 335 再生紙を使用しています。

城南の保健

発行所
城南保健生活協同組合
 本部事務局 大田区大森中1-22-1 2階
 TEL (3762) 0266
 振込銀行 さわか信用金庫大森支店
 口座 (普) 0469459
 発行 「城南の保健」編集委員会
 毎月1回発行・定価1部 30円



中央舞台では10団体が出演 (写真はフラダンス)



賑わう会場

第26回大田・品川健康まつり 4000人が参加

第26回大田・品川健康まつり 福引き当選番号

特等 (高級自転車 1本)
5041

1等 (多機能組成計 1本)
4982

2等 (血圧計 2本)
0387 5689

3等 (ズワイガニ 3本)
0131 1935 3395

4等 (米 5kg 5本)
0028 3679 6875 9752
9774

5等 (ルーブループ 15本)
0349 0538 0840 1527
1653 1807 2001 3724
3728 3837 4519 4634
7602 7816 8401

6等 (歩数計 20本)
0225 0414 1438 1439
1652 2024 3339 3704
4168 5122 6425 7690
8216 8330 8466 9152
9327 9522 9639 9655

7等 (ハブラシ、ストラップ、箸置き、缶バッチのいずれか 下1桁)
5 7

7等の引き替えは城南保健生協の各事業所、城南福祉医療協会の各事業所、城南医薬協働の各事業所、南部生協でできます (半券をお持ちください)。1~6等の当選者の方で景品の引き替えがまだの方は城南保健生協本部 (3762-0266) までお電話ください。



福引き抽せん会の様子



挨拶する権守実行委員長



AEDの講習も行いました



南部合唱団のうたごえ



山城さんのサンシン演奏



荏原合同ユニオンのエイサー隊

10月24日(日)に行われた第26回大田・品川健康まつりは、天候にも恵まれて入場者数が4000人を超え、大成功をおさめることができました。実行委員会への参加ならびに賛助券の普及等で準備の段階からご尽力いただいた皆さま、また当日の要員の皆さまのご協力により感謝申し上げます。

中央舞台では、荏原病院の大島さんと南部生協の石野さん、大田病院の渋谷さんの息の合った司会の中、開幕太鼓で始まり、サンシン演奏、よつちよれ、合唱、フラ、コカリナ演奏、エイサー、かっぽれ、軽音楽、南中ソーランと充実した内容で、観客席は常に満員でビニールシートを敷いて座っている人も出るくらい、今年もたいへん盛り上がりました。出演していただいた皆さんありがとうございました。

模擬店は、東京南部生協さんの生産者からの出店もあり、54の出店で盛況となりました。肌年齢チェックをやっていたたいポラザビュティ蒲田店さん、9条パンを販売していただいた大森西の「ポルカドット」さんが、新たに参加してくださいました。また、健康スタンプラリーコーナーには、「肺年齢測定」も加わり、245人の方が健康チェックを受けました。毎年大行列のできる

第26回大田・品川健康まつりのお礼

新大田建設さんによる包丁とぎ、まな板削りなども大好評でした。今年には「AED講習」「高齢者体験」「スポーツ吹矢体験」の各コーナーを新設し、多くの方に体験していただきました。子ども遊びコーナーではフラフープと竹馬を新たに用意し、子どもたちは楽しそうに遊んでいました。スポーツ吹矢連盟大森支部および吹矢道場「遼馬」健康の会、大田社保協のみなさんにもご協力いただきました。

今回の健康まつりでは、新しくつながりを持つことができました。団体も含め、各団体の連携をさらに強めることができました。今後とも、さまざまな運動で連携していければと思います。

ご感想、ご意見やご要望などがありましたら、実行委員会事務局までお寄せくださいませ。第26回大田・品川健康まつりへのご参加、ご協力本当にありがとうございました。

2010年10月25日
 第26回大田・品川健康まつり
 実行委員会
 実行委員長 権守光夫

今回はじめて肺年齢測定を行いました。機械の不具合により、予定測定人数より若干少ない人数となりました。お詫びいたします。

あるアンケートに教育に関する項目がありました。回答には貧困家庭の増大にもない経済的支援を望む声や、ゆきとどいた教育の実現をめざす30人学級を求める声も寄せられています。その中で教師の質の向上を望む声も少なくない回答も寄せられました。確かに重要な問題です。質の向上を求める回答の中には「昔の先生に較べて」とこんな風を受けとめられるものも含まれています。▼いま歴代の内閣によって規制緩和政策がおしすすめられ、結果として日本を支えていた重要な産業が海外に拠点を移し、技術を含めあらゆる部門で空洞化が進行しています。大田区に広がる製造業もとり返しのつかない程の停滞の状況にあります。非正規雇用が当たり前のようにはびこり、青年はまさに使い捨ての労働力です。これが教育の現場にもはびこっています。各県の調査でも臨時的な任用を含めて非正規教員が10%を超える県の存在も報道されています。加えて猛烈な忙しき。製造業にたすきを担う青年同様、新人教師の技術の向上を支える環境も悪化しているのが現実です。▼いま国のあらゆる方面で停滞傾向が指摘される中で政治の改革は一層課題を増します。しかし現状は改革にすすむよりも、自らの延命をはかることに重きを置いています。いま政府から国民への発信は「金が無い。ムダが多い」です。正直な国民は政府の誘導で、公務員も議員もムダと思いついで削減を歓迎します。先生も公務員です。正規の教職員の削減はいつそう教育現場を混乱させます。